



えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年
5月臨時号5月22日
江古田小学校
児童数 430名
TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かんがえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」

葉が開いているおぎょう



葉が閉じているおぎょう



五感プラス3つの感覚 を研ぎ澄まそう

校長 松井 貴子

先週に引き続き、今週も個別連絡及び電話連絡を実施しました。来週は、1年生の個別連絡及び2年生以上の分散登校により、学校再開に向けて準備を進めてまいります。学校教育への御理解と御協力をよろしくお願い致します。

ところで、今年の始業式の話は、江古田小のあいうえお作文でした。

「㊦^{えがお ちょうせん}笑顔で挑戦 ㊧^{ごかん}五感プラス3つの感覚を研ぎ ㊨^{たの}楽しいことがいっぱい

㊩^{しょうがっこうせいいかつ}小学校生活」です。

五感とは、「見る、聴く、嗅ぐ、触る、味わう」です。科学者たちは、この5つに加え、新たに3つの感覚の追加を提案しているそうです。熱さ・冷たさを判断する感覚です。空間のなかで自分の体がどこにあるのかを把握する感覚です。そして最後の1つは、身体のバランスをとるために必要な平衡感覚です。

気温の変化が激しいこの頃、季節はまもなく春から夏になります。日々の生活の中で5プラス3の感覚を研ぎ澄まし、子どもたちが「不思議だな。」と思うことや「面白いな。」と感じることをたくさん発見し、考えていけるようにと願っています。

【自分の役割、自分の居場所】

この臨時休業中、子どもたちはお家ではどんなお手伝いをしているのでしょうか。衣類の洗濯、食器洗い、お風呂掃除、掃除機が自動で行われる等とても便利になってきて、家事は減っているかもしれませんが、生活様式も変わってきていると思います。それでも、子どもたちがお手伝いできることは結構あるものだと思います。洗濯物をたたんで片付ける、家のポストの郵便物を取りに行く、弟や妹のお世話をする、植物に水をあげる、離れて暮らす祖父母に電話やメールをする等、各家庭で考えて既に取り組んでいるという話も聞きます。お手伝いをさせることは大事な学習で、家族の一員としての役割を自覚することになります。学校が再開してから、新しい生活ルールの中で、家でも学校でも活躍の場をもたせていきたいものです。

さて、学校が始まると、高学年は委員会活動、低学年や中学年は学級の当番活動や係活動の中で役割を担い学校生活をします。人のためにも自分のためにも役割を責任をもって取り組む経験は、子どもにとって自信につながります。また、学校への所属意識を強め、学校が自分の大切な居場所となります。学校で学ぶことの目標の一つは、社会のために役立つことだと考えています。ソーシャルディスタンスに気を付けながらの学校生活の始まりになりますが、役割をもたせ、互いの行いに感謝しながらよりよい学級づくりをしていきたいと思っています。